

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

(運用期間:2023年 7月～2024年6月)



最新オンデマンド出力機 Revoria Press EC1100

発行日:2024年8月9日

西日本ビジネス印刷 株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲.....	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容.....	5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果 とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び 環境経営計画	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	11

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 西日本ビジネス印刷 株式会社
代表者氏名 代表取締役 社長 園田 弘毅
- (2) 所在地 本 社 〒810-0014 福岡市中央区平尾5-5-30
- (3) 環境管理責任者
連絡担当者 久末 篤史
連絡先 TEL 092-531-4757 FAX 092-524-2545
Eメールアドレス hisasue@n-global.co.jp
- (4) 事業の内容 印刷物の製造・販売及びホームページ制作
・主要製品:DM、名刺、伝票、封筒、チラシ
・弊社ホームページアドレス <https://www.n-global.co.jp>
- (5) 事業の規模 総売上額:163百万円(2023年度)
- | 区分 | 単位 | 本社 |
|------|----------------|-----|
| 社員数 | 人 | 18 |
| 延床面積 | m ² | 520 |
- (6) 事業年度 7月～翌年6月

2. 認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 本社
- (2) 対象活動 全活動
印刷物の製造・販売及びホームページの制作

3. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

西日本ビジネス印刷株式会社は、「環境経営」に徹することが地域社会に受け入れられ、有用な企業として認知されることに繋がると理解し、その事が社員全員の意識の高揚、生産性向上、ひいては企業業績の拡大に資するものと確信をいたします。

この事を、「経営理念」の一部としても掲げ広報活動に於いても広く宣言し、全社をあげて環境に優しい企業づくりに取り組んでまいります。

日常的には、自らが使用する電気や水道などの削減、インクや各種素材、紙などの廃棄物にも細心の注意を払い、その消費のあり方と処分方法に十分な配慮をしてまいります。地域においては、環境に配慮した行動の重要さや大切さを大いに唱え、賛同の輪を少しでも広げることに尽力します。

＜環境行動指針＞

当社の環境経営理念に基づき、深刻化する環境問題への対応を経営の大きな柱と位置づけ、自主的、積極的、社会的な取組を行い、環境経営の継続的改善を目標にエネルギー使用量の削減、原材料の効率的利用、廃棄物の削減、業務効率化などにより環境負荷の低減を目指します。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、環境活動を計画的に取組み実施します。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の発生抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 化学物質使用量の適正管理に努めます。
 - (5) 環境負荷の小さい原材料を調達します。
 - (6) 印刷の工程管理に努め生産効率を高めていきます。
3. 当社の毎年の環境への取組み状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知し、一般にも公表します。

制定日 2019年9月17日

改定日 2020年7月1日

西日本ビジネス印刷 株式会社

代表取締役社長 園田 弘毅

4. 環境経営目標

地域の環境の保全を目的に環境経営方針をふまえて環境経営目標の6項目9目標を決定しました。

概ね、過去の活動を通じて、更なる削減が難しい水準まで削減が進んでいると判断されることから、主要な環境負荷である「二酸化炭素排出量」及び「廃棄物排出量の削減」「水使用量」については、実態を反映させたものとする為に過去3年間の実績平均値を基準とすることにしました。

「産業廃棄物、化学物質」は適正使用、適正管理に努めています。

事業活動で取り組む本業目標について、「環境負荷の小さい原材料調達」は再生紙の入手が難しくなったこともあり再生紙だけでなくエコ用紙(木材以外の素材から製造されている紙)なども含め2022年度実績をもとに目標を決めました。

「印刷の工程管理に努め、生産工率を高める」につきましては2019年実績をもとに目標を決め2023年度は4%増を目標に決めました。

環境目標	サイト 区分	単位	実績値(過去 3年間の実績 平均値を基 準とする)	目標			
				2023年度 (≦34,746)	2024年度 (≦34,746)	2025年度 (≦34,746)	2026年度 (≦34,746)
				2020.7～ 2023.6	2023.7～ 2024.6	2024.7～ 2025.6	2025.7～ 2026.6
1. 二酸化炭素排出量の削減 (都市ガスを除く)	全社	kg-CO ₂	34,746	34,746	34,746	34,746	34,746
①電気使用量削減	事務所	kWh	36,805	36,805	36,805	36,805	36,805
	工場	kWh	38,767	38,767	38,767	38,767	38,767
②ガソリン使用量削減	事務所	ℓ	4,030	4,030	4,030	4,030	4,030
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減	全社	kg	934	934	934	934	934
②紙ゴミの100%リサイクル	工場	%	100	100	100	100	100
③産業廃棄物の適正管理 (廃アルカリ現像液廃液及び空缶)	工場	-	—	適正使用・適正管理に努める			
3. 水使用量の削減	全社	m ³	224	224	224	224	224
4. 化学物質使用量の適正管理 (印刷機洗浄用)	工場	-	—	化学物質使用量の把握と適正管理に努める(製品の品質に関わるため)			
5. 環境負荷の小さい原材料調達 (紙)	全社	% (エコ用紙の 調達重量割 合)	2022年度実 績 4.6%	5.6% (1%増)	6.6% (2%増)	7.6% (3%増)	8.6% (4%増)
6. 印刷の工程管理に努め、生産 効率を高める	工場	売上/hr (機械の稼働 時間あたりの 売上)	2019年度実績 38,644円	40,190円 (4%増)	40,576円 (5%増)	40,963円 (6%増)	41,349円 (7%増)

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2018年度調整後排出係数)を使用した。

・都市ガスの使用は飲料目的のみなので二酸化炭素排出量の削減には含めない。

・サイト区分の全社とは、事務所+工場を示す。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(責任者・活動項目)を設定して、全社員で取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①電気使用量の削減	事務所	制作	1.事務所、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する	制作	通年
			2.人が使用していない部屋や場所の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	制作	通年
	工場	工場	1.室温管理を徹底し、冷房期は25℃、暖房期は20℃を目安に、空調機の温度設定で室温調節する(室温管理は温度計で行う)	工場	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
			2.使用していない部屋の空調は停止している	工場	通年
②ガソリン使用量の削減	事務所	営業	1.ふんわりアクセル「eスタート」(5秒間で20km/hが目安)を心がける	営業	通年
			2.不要な荷物を下ろし、車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転をする	営業	通年
			3.エアコンの使用を適切(オート)にする	営業	通年
			4.ガソリン給油時にはタイヤの空気圧を点検する	営業	通年
			5.車の燃費を把握する	営業	通年

2. 廃棄物排出量の適正管理

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	全社	制作	1.廃棄物の分別排出を行い重量を記録する	制作	通年
			2.裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する	制作	通年
②紙ゴミの100%リサイクル	工場	工場	1.紙ゴミの100%リサイクル	工場	通年
③産業廃棄物排出量の適正管理 (廃アルカリ現像液及び空缶)	工場	工場	1.アルカリ現像液の適正使用、管理、記録	工場	通年
			2.廃棄物排出量の把握(マニフェストから把握)	工場	通年

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①水使用量の削減	全社	営業	1.日常の節水・漏水の点検	営業	通年

4. 化学物質使用量の適正管理(製品品質に関わる為)

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①化学物質使用量の適正管理 (印刷機洗浄用)	工場	工場	1.定期的に化学物質使用量(対象洗剤在庫量)を記録する	工場	通年
			2.化学物質使用者にSDSを渡し適正使用に努める	工場	通年

5. 環境負荷の小さい原材料調達

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①環境負荷の小さい 原材料調達(紙)	事務所	営業	1.エコ用紙の積極的な購入	営業	通年
	工場	工場	2.エコ用紙の使用量(重量)の把握	工場	通年

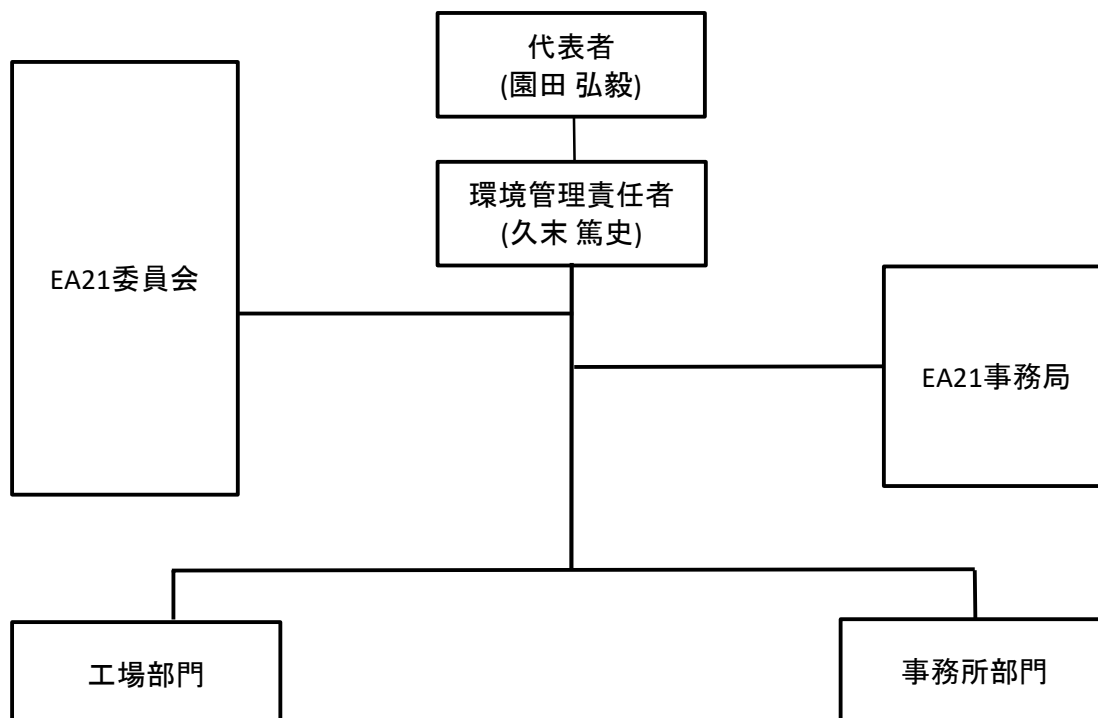
6. 印刷の工程管理に努め、生産効率を高める

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①印刷の工程管理に努め 生産効率を高める	工場	工場	1.工程管理を効率的に作業を行う	工場	通年
			2.印刷機使用時間の管理(短縮)と記録	工場	通年
			3.使用した通し紙の管理(削除)と記録	工場	通年
			4.使用した通し紙の再使用	工場	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2023年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって実施しました。

(1) エコアクション21実施体制



(2) 2023年度に実施した環境への取組

環境負荷を削減する取組



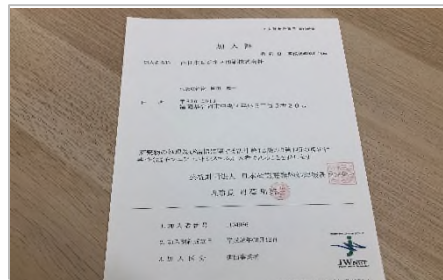
CO2削減



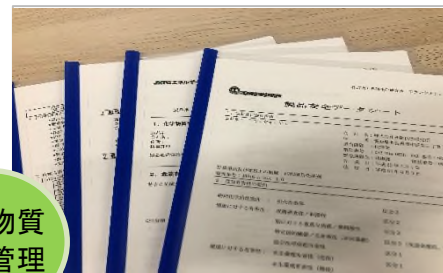
環境負荷を削減する取組



ごみ減

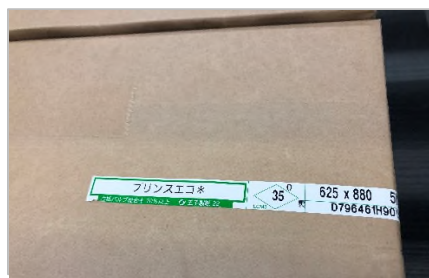


水の減量



化学物質
適正管理

環境を良くする取組



環境共生



地域共生



7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標の実績

今回の2023年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標6項目9目標のうち、「水使用量の削減」が目標達成できませんでした。理由としてコロナ禍以降の手洗いの慣行及びインフレにより飲料物の購入を控えた結果、社内での給湯の使用機会増加が考えられます。本業目標につきましては今後も継続目標として取り組んでいきます。

「二酸化炭素排出量」については、各社員の意識向上による日頃の活動の成果もあり達成できました。「ガソリン使用量」につきましては遠方の顧客とのメールやZoomを使用した効率的な営業活動の成果もあり達成出来ました。「一般廃棄物排出量削減」につきましては目標まであと一歩だったのですが達成できませんでした。「環境負荷の小さい原材料調達」につきましては社員の意識向上の結果として目標を達成できました。「印刷の工程管理に努め、生産効率を高める」につきましてはぎりぎり目標達成できました。

環境目標	サイト 区分	単位	2023年度（≦34,746）		目標達成率 ※1	目標達成評価 ※2
			2023年7月～2024年6月			
			目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減 （都市ガスを除く）	全社	kg-CO ₂	34,746	31,619	110%	○
①電気使用量削減	事務所	kWh	36,805	38,001	97%	△
	工場	kWh	38,767	37,838	102%	○
②ガソリン使用量削減	事務所	ℓ	4,030	2,284	176%	◎
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物排出量の削減	全社	kg	934	1,012	92%	△
②紙ゴミの100%リサイクル	工場	%	100	100	100%	○
③産業廃棄物の適正管理 （廃アルカリ現像液廃液及び空缶）	工場	-	適正使用・適正管理に努める		-	-
3．水使用量の削減	全社	m ³	224	208	108%	○
4・化学物質使用量の適正管理 （印刷機洗浄用）	工場	-	化学物質使用量の把握と適正管理に努める(製品品質に関わるため)		-	-
5 .環境負荷の小さい原材料調達 （紙）	全社	% (エコ用紙の調達重量割合)	5.6%	8.4%	150.8%	◎
6 印刷の工程管理に努め、生産 効率を高める	工場	円 売上/hr(機械の稼働時間あたりの売上)	¥40,190	¥40,216	100%	○

備考) ※1 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、 実績÷目標×100(増加目標の場合)

※2 評価区分◎: 目標達成率≧120% ○: 100%≦達成率<120% △: 90%≦達成率<100% ×: 達成率<90%
都市ガスの使用は飲料目的のみなので二酸化炭素排出削減には含めない

(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

・2023年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①電気使用量の削減	事務所	○	1. 事務所、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する	○	<現状> ・取組については、概ね良好、でガソリン使用量の減少により二酸化炭素排出量の削減目標を達成できました。 <今後> ・現在の取組は今後も継続してより一層の成果を出すべく持続してください。
			2. 人が使用していない部屋や場所の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○	
	工場	○	1. 室温管理を徹底し、冷房期は25℃、暖房期は20℃を目安に、空調機の温度設定で室温調節する（室温管理は温度計で行う）	○	
			2. 使用していない部屋の空調は停止している	○	
②ガソリン使用量の削減	事務所	○	1. ふんわりアクセル「eスタート」（5秒間で20km/hが目安）を心がける	○	
			2. 不要な荷物を下ろし、車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転をする	○	
			3. エアコンの使用を適切（オート）にする	○	
			4. ガソリン給油時にはタイヤの空気圧を点検する	○	
			5. 車の燃費を把握する	○	

備考) 達成状況区分 ◎：目標達成率≥120% ○：100%≤達成率<120% △：90%≤達成率<100% ×：達成率<90%
 実施状況区分 ○：実行されている △：ほぼ実行されている ×：実行されていない -：該当なし

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①一般廃棄物排出量の削減	全社	○	1. 廃棄物の分別排出を行い重量を記録する	○	<現状> ・継続的に漏れなく重量の記録できました。 <今後> ・チェックリスト確認の徹底。
			2. 裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する	○	
②紙ゴミの100%リサイクル	工場	○	1. 紙ゴミの100%リサイクル	○	
③産業廃棄物の適正管理	工場	○	1. アルカリ現像液の適正使用、管理、記録	○	
			2. 廃棄物排出量の把握(マニフェストから把握)	○	

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①水使用量の削減	全社	○	1.. 日常の節水・漏水の点検	○	<現状> ・持続的に確認点検できています。 <今後> ・チェックリスト確認の徹底。

4. 化学物質使用量の把握と適正管理

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①化学物質使用量の適正管理(印刷機洗浄用)	工場	○	1. 定期的に化学物質使用量（対象洗剤在庫量）を記録する	○	<現状> ・問題なし。 <今後> ・取組の継続。
			2. 化学物質使用者にSDSを渡し適正使用に努める	○	

5. 環境負荷の小さい原材料調達

活動項目	サイト 区分	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価
①環境負荷の小さい原材料調達(紙)	事務所	○	1. エコ用紙の積極的な購入	×	<現状> ・顧客に対して積極的にエコ用仕様の提案ができています。 <今後> ・現在の取組を継続
	工場	○	1. エコ用紙の使用量(重量)の把握	○	

6. 印刷の工程管理に努め、生産効率を高める

活動項目	サイト 区分	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価
①印刷の工程管理に努め生産効率を高める	工場	○	1. 工程管理を効率的に作業を行う	○	<現状> ・概ね良好。 <今後> ・現在の取組を継続
			2. 印刷機使用時間の管理(短縮)と記録	○	
			3. 使用した通し紙の管理(除去)と記録	○	
			4. 使用した通し紙の再使用	○	

(3) 次年度の取組み

1) 環境経営目標について

- ・「4. 環境経営目標」で計画している目標を適用します。

2) 環境経営計画について

環境経営計画の達成状況は概ね満足行く結果でした。

より一層の取り組み結果の目標達成を目指し、現在の取組を引き続き周知徹底して実施することとします。

「環境負荷の小さい原材料調達」については現在再生紙の入手が難しくなっていることもありFSC認証用紙を含めたエコ用紙全般を対象にしたことにより目標達成ができました。

「印刷の工程管理に努め生産効率を高める」については引き続き現在の取り組みを実践しつつ他の効率的な手段を模索します。

二酸化炭素排出量の削減目標は達成されましたが今後も継続して結果を残す取り組みを日々検討します。継続的な取り組みにより二酸化炭素削減を引き続き目指します。

その他の取組項目については、「5. 環境経営計画」に基づき次年度も継続していきます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。2023年度運用期間中の事業活動に対して、2024年7月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	処理業者との委託契約・マニフェスト伝票の交付・マニフェスト交付等状況報告・マニフェスト伝票の保管	○
福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	産業廃棄物の適正な処理・収集運搬処分は許可を受けた一般廃棄物収集運搬業者に委託する	○
化管法(PRTR法)	化学物質(PRTR制度対象物質)の管理	○
消防法	火災予防、危険物(IPA等)管理	○
騒音規制法	特定施設の事前届出・規制基準の遵守	○
振動規制法	特定施設の事前届出・規制基準の遵守	○
使用済み自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)	使用済み自動車の引き渡し義務	-
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	-
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	簡易点検	○

備考) 評価区分 ○:遵守 ×:不遵守 ー:該当なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 今回の2023年度終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

(1)取組状況の全体評価

- ・ 環境への取組状況について、電気使用量は概ね満足な結果を得ました。営業車によるガソリン使用量が減少し二酸化炭素排出量はトータルで目標達成が出来たことは評価できます。今後も効率的な営業車の使用を目指しガソリン使用量の減少を徹底してください。
- ・ 一般廃棄物排出量の削減については、2023年度は排出量の正確な記録が保たれました。目標にはわずかに届きませんでした。今後も秤のメンテナンスも含め徹底して正確な数値の記録をお願いします。
- ・ 環境負荷の小さい原材料調達については再生紙の供給減対策としてFSC認証紙などの環境に配慮した入手し易い材料の調達に環境目標を変更したことにより目標が達成できました。今後も既存顧客を含め新規の顧客に対してもエコ用紙の提案を進めてください。
- ・ 印刷の工程管理に努め生産効率を高めるについては結果が出てきているようですので今後も取り組みを継続して下さい。

(2)見直しの結果

- ・ 環境経営方針、環境経営目標は次年度も継続しますが、目標達成できなかった項目については各担当者が原因を把握して改善策を模索し目標達成を目指してください。エコ用紙についてはネットショップにも対象用紙を使用した商品を掲載するなど既存のクライアント以外にも購入いただけるよう方策の検討をお願いします。
- ・ また、レポート作成も引き続き新ガイドラインの要求事項を踏まえて、読み手側に立った読みやすい内容で構成等も工夫し、作成して下さい。

代表取締役 社長
園田 弘毅